

平成27年度復興支援の担い手の運営力強化実践事業（復興活動支援枠） 一覧表

番号	事業名	応募者			事業概要（申請書様式第2号から移記） ※一部、事務局で修正していること	補助金 交付決定額 (千円)
		協議体名	主なNPO 法人等	市町村 (県)		
1	釜石版！ローカル 人材輩出の持続可 能な仕組み構築プ ロジェクト		一般社団法 人三陸ひと つなぎ自然 学校	釜石市	復興期を含めた未来の釜石を担う”地域活動人材”を生み続ける仕組みの構築を行う。長く続く復興においては、今を担う現役世代の掘り起こしや、UIターン者を取り込むことも重要であるが、次代を担う若者の育成も同時にすべきことである。ツーリズムによって人と地域がともに育つ「そだち・ば」の仕組みを、地元の若者にも振り向けることで、復興期のみならず、将来に渡り地域で活動する人材を輩出する仕組み構築へとつなげる。	4,145
2	「花と緑の力」で 大槌の復興街づく りを進める事業		特定非営利 活動法人G r e e n F i e l d s	大槌町	被災地・大槌を花と緑あふれる美しい豊かな街として復興するために、公共花壇作りを通じたコミュニティー再生のノウハウを学び、今後「花と緑の力」で大槌の街づくりを行うために必要な組織作りと人材育成を促す事業。	2,245
3	ひとつの集落、ひ とつの林場。～薪 が紡ぐ、なりわ い・人・街づくり ～		特定非営利 活動法人吉 里吉里国	大槌町	・里山を中心とする森林資源を有効活用する事により、持続できる被災者の自立・生活再建につながる活動を行う。 ・次代を担う人材育成活動等を継続することで、持続再生可能な暮らしの確立や地域コミュニティー再生のための事業を行う。 ・後世に豊かな盛と海を引き継ぐための仕組みづくりを行う。	3,297
4	復興支援NPOな んでも相談会		特定非営利 活動法人シ ニアパワー いわて	沿岸広域振 興局	当法人が開催してきた、NPOに関する相談会の経験と実績を踏まえ、平成24年度から3年間に亘り県の補助事業で「復興支援NPOなんでも相談会」を、宮古・釜石・大船渡・陸前高田の4市において、それぞれ上期・下期と2回ずつ開催し、一定の成果を挙げることが出来た。 今年度は、今まで積み上げてきた実績をベースに、沿岸広域振興局との連携を密にして、NPO法人新会計基準の普及と定着化および経理処理の適正化を中心としたNPO活動全般に関する相談会を行い、復興支援に取り組むNPO法人の総合力向上に側面から支援するものである。	1,124
5	震災地に緑とめん 羊による景観形成 と住民交流の輪を 広げまちづくりを 支援する事業		特定非営利 活動法人越 喜来の景観 形成と住民 交流を図る 会	大船渡市	壊滅的被害を被った三陸町越喜来の浸水地域にめん羊を放牧し、動物とのふれ合いなどを通じて、住民の交流を図ることを目的として、三年にわたって順調に活動してきました。県からの要請で放牧地及び花壇の移転を余儀なくされ、新たな浸水地で目的の再現に至り、本年度も引続き事業として活動を継続して行きます。	1,117
6	釜石箱崎半島部の 持続可能な復興ま ちづくり事業		特定非営利 活動法人釜 石東部漁協 管内復興市 民会議	釜石市	東日本大震災で被災した釜石東部漁協管内の漁業集落の100年先を見据えた安心安全で、活力にあふれ、地域資源を活かした持続可能な復興まちづくりに向け、県や市、及び関係団体と協働しながら「まちづくり・人づくり」を様々な分野で具現化する。	4,637
7	宮古を愛する青少 年の育成事業		特定非営利 活動法人盛 岡YMCA	宮古市	震災で遊ぶ場所が制限されるなど、様々な場面で「がまん」を余儀なくされている宮古市内、並びに近隣沿岸地域の小学生を対象に月例の野外活動、サッカースクール、夏の水泳教室を開催して、「遊びの体験」を通して心のケアを継続的に図る。また、地元の高校生のボランティアを育成し、上記活動への参加を促す。これらの活動を通して地元の自然に触れ、地元を愛し、地域の復興を支える次世代のリーダーシップを育成する。	4,902
8	障がい児者の相談 支援体制整備事業	ええ町相談 支援ネット ワーク協議 会	特定非営利 活動法人い わて発達障 害サポート センター ええ町つ くり隊	陸前高田市	近年特に支援の必要性が高まっている障がい児者やその家族に寄り添い、共に地域・支援団体・障がい児者本人及び家族が協働し、地域理解を広げる相談支援の体制整備を図り、気仙地域の社会福祉の向上を図る。	4,318
9	子育てに自信があ る、子育てが楽し くなる親支援スキ ルアップ事業		認定NPO 法人いわて 子育てネッ ト	岩手県保健 福祉部	・親支援シンポジウムを開催し親支援の機運を喚起する講演と岩手県内で親支援の団体をシンポジストに迎えプログラム紹介。 ・子育て親と子育て支援者を対象に親支援プログラムの実施。親には気づきを、支援者には手法を。 ・子育て相談の実施と研修。一人ひとりに合った面談相談と解決メニューの提供とフォローアップ。	3,827
10	いわて文化支援 ネットワーク事業		特定非営利 活動法人い わてアート サポートセ ンター	岩手県教育 委員会	東日本大震災からの芸術文化面での復興をめざし、被災地への文化支援を行っている岩手県内の芸術文化団体のネットワークを構築し、地域間交流の推進を図る。その為、復興段階に応じて変化する多様なニーズに対応できる文化支援事業と情報交流に努め、文化ボランティアの人材育成を活性化させるとともに、全国からの文化支援や県等の行政からの情報と被災地を結ぶ中間支援のコーディネート事業を行う。	4,571

平成27年度復興支援の担い手の運営力強化実践事業（復興活動支援枠） 一覧表

番号	事業名	応募者			事業概要（申請書様式第2号から移記） ※一部、事務局で修正していること	補助金 交付決定額 (千円)
		協議体名	主なNPO 法人等	市町村 (県)		
11	田老の誇りづくり 基盤整備事業		特定非営利 活動法人点 空社	宮古市	震災でつながった外部からの支援者との継続的な関係づくりや住民との関係づくりを通じた「現地と支援者」、「現地とそこを去った人たち」の双方向の関係を構築することで田老地区全体での復興のネットワークを構築していく。田老地区への外部者を受け入れ、地域資源を掘り起こしながら協働の手法やプロセスを地域に定着化させる。もって、地域が豊かになるために、地域の誇りや宝を売り出していくもの。	4,451
12	コミュニティ再生・活性化メディアとしての災害FM等の連携・促進事業	いわて災害 コミュニティメディア 連携・連絡協議会	特定非営利 活動法人まち づくり・ぐるっ とおつち	沿岸広域振 興局	災害FM局・コミュニティFM局がコミュニティの再生、地域の活性化の核として社会に貢献することを目的に、各局が地域に果たしうる役割について自らの認識を深めるとともに、自治体、企業、ボランティア団体、住民などと共同で、具体的な連携の在り方を模索する。さらに、県域局との連携を活かした各社共同番組の制作と放送等を通じて広く発信するとともに、持続可能なメディアへの脱皮を目指す。	2,454
13	陸前高田市における若年無業者自立支援による米崎りんごの担い手創出を通じた運営力強化事業		一般社団法人 SAVE TAKATA	陸前高田市	陸前高田市米崎町を中心に栽培されている「米崎りんご」の後継者不足を解決する為に、陸前高田市とその周辺地域のニート・ひきこもり等の「若年無業者」と呼ばれる若者への自立支援として、就農・就労体験の場を提供し、担い手として育成することで、若者の自立と後継者の創出の相互課題解決を目指す。	3,307
14	地域資源を活かした復興地域づくり支援と人材育成事業		一般社団法人 Unit ed Green	釜石市	耕作放棄地などの地域資源を活用し、菜種油生産や農業を通じて、被災者の生活基盤と心身の健康向上を支援する。並びにそれらと相互リンクさせながら、交流の場づくり、被災地体験学習ツアーづくり、人材育成を行い、被災者と地域のもつ課題を解決し、復興のための循環型の地域づくりと活性を長期的に行う。	3,999
15	復興に関わる若者ネットワーク構築とアクション・協働創発事業		特定非営利 活動法人w i z	大船渡地域 振興セン ター、大船 渡市	(1)域外の事例を学ぶセミナー、(2)地域の若者によるアクション・協働のコミュニティ作り、若者のネットワーク構築とアクション・協働につながる事業を展開する。さらに、(3)運営体制基盤、(4)情報発信力強化を実施し、昨年度より幅広い人たちが参加・関わるができる活動・法人となるための経営基盤の強化を実施する。	3,846
16	仮設の「まち」におけるコミュニティ・ケア事業	平田公園仮 設団地まち づくり協議 会	平田第6仮 設団地自治 会	釜石市	平田公園に建設された仮設の「まち」の運営に関わる多様なコミュニティ組織・支援団体が連携し、被災住民の心理・健康・福祉・生活に関する包括的コミュニティ・ケアを継続して実践する。	1,400
17	こころの復興支援を担う次世代のリーダーの育成とメンタルヘルス・リテラシーに関する普及啓発活動		特定非営利 活動法人心 の架け橋い わて	沿岸広域振 興局	東日本大震災から4年余りが経過し、岩手県沿岸地域では被災住民のメンタルヘルスケアがますます大きな課題となっているが、震災以前からの支援専門家不足は解消されていない。本事業では、岩手県在住の対人援護職および学生を対象にこころの復興支援を担う次世代リーダーの育成を行うとともに、被災地におけるメンタルヘルス・リテラシーに関する普及啓発を行い、被災地コミュニティの自立的支援基盤を強化する。	4,930
18	手わざと経営力の磨きあげによる手しごとのビジネス化		一般社団法人 SAVE IWATE	盛岡市	被災地の方々による針仕事やかご細工、特産品づくりの手しごとをビジネスレベルにまで高めるため、内部のベテランスタッフによる経営指導と外部の専門家を招いての技術指導を受けるほか、先進地の視察研修や支援者からの評価把握を通して担い手人材の意識変革と能力向上を図る。また活動拠点にしている施設の老化化対策を講じる。	4,771
合計						63,341